

シラバス

授 業 科 目	消化器系疾患と薬物治療(H18～)・疾患と薬物治療学Ⅲ(～H17)		
(英 文 名)	Alimentary Disease and Drug Therapeutics・Pathophysiology and Drug Therapeutics Ⅲ		
担 当 教 員	西尾廣昭 他		
単 位 数 (期別)	△2(前)(H18～) ・2(前)(～H17)	対 象 学 生	3P(H18～) ・3P(～H17)

■授業のねらい・概要■

適切な薬物療法に貢献できるようになるために、代表的な消化器系疾患の病態生理、症状を理解すると共に、これらの疾患の治療薬とその作用機序、使用上の注意についての理解を深める。【C13(3), C14(1),(2),(5)】

■授業(学習)の到達目標■

1. 消化器系の部位別に代表的な疾患を挙げることができる。
2. 消化性潰瘍の病態生理、および代表的治療薬の薬理作用、主な副作用について説明できる。
3. 代表的な催吐薬と制吐薬を挙げ、作用機序および主な副作用を説明できる。
4. 腸炎の病態生理、および代表的治療薬の薬理作用、主な副作用について説明できる。
5. 代表的な肝臓疾患の病態生理、および代表的治療薬の薬理作用、主な副作用について説明できる。
6. 代表的な膵臓疾患の病態生理、および代表的治療薬の薬理作用、主な副作用について説明できる。

■回数ごとの授業内容■

- | | |
|-------------------------|---------------------------|
| 1. 消化器系疾患と薬物治療の概説(西尾) | 11. 肝臓疾患の病態生理(吉田) |
| 2. 消化性潰瘍の病態生理(西尾) | 12. 肝臓疾患の治療薬(吉田) |
| 3. 消化性潰瘍の治療薬(西尾) | 13. 膵臓疾患の病態生理(吉田) |
| 4. 胃炎の病態生理と治療薬(西尾) | 14. 膵臓疾患の治療薬(吉田) |
| 5. 催吐薬と制吐薬の作用機序(土谷) | 15. 消化器系悪性腫瘍の病態生理と治療薬(土谷) |
| 6. 消化管運動・機能調節薬の作用機序(土谷) | |
| 7. 炎症性腸疾患の病態生理(井上) | |
| 8. 炎症性腸疾患の治療薬(井上) | |
| 9. 過敏性腸症候群の病態生理(井上) | |
| 10. 過敏性腸症候群の治療薬(井上) | |

■成績評価の方法・基準■

臨時試験並びに定期試験の成績によって評価する。

■使用テキスト■

教科書は指定しない。講義にはプリントを配布する。

■参 考 書■

「グッドマン・ギルマン薬理書—薬物治療の基礎と臨床」高折修二他、監訳：廣川書店
「病態生理・生化学」植木 寛他 : 廣川書店

オフィス・アワー (授業内容等の質問・相談日)	月曜日～金曜日：随時
----------------------------	------------